

平成 23 年度活動報告書

目 次

はじめに 石橋会長 挨拶

I 地域情報化の推進活動

- I・1 地元企業間連携(コラボ)による国家プロジェクトの推進
- I・2 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)
- I・3 東長崎エコタウン
- I・4 電子自治体関連
- I・5 長崎県高度情報化推進協議会(長崎県)
- I・6 組込みソフト研究会(ES-Nagasaki)
- I・7 シーテックジャパン2011「長崎県」ブースへの出展 (長崎県)
- I・8 長崎県工業技術センターとの交流会
- I・9 長崎市関連
- I・10 長崎県中小企業団体中央会関連

II 交 流 事 業

- II・1 海外との交流事業(今年度 無)
- II・2 他団体・大学等との交流事業
- II・3 通常総会・講演会・交流会
- II・4 我が社の一押し
- II・5 ビジネスコラボ事業

III 研修事業

- III・1 長崎県支援による研修事業
- III・2 JISA 補助金による研修
- III・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施(受託事業)
- III・4 九経局 九州地域中小企業利活用基盤整備事業「人材育成研修事業」
- III・4 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

IV 人材高度化能力開発事業(今年度から助成金支援事業:事務費 10%)

V 講演・セミナー事業

VI 情報収集提供事業

VII 理事会(役員会)

平成 23 年度活動報告書

(平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月 31 日)

はじめに

平成 21 年度より事業計画の基本方針の一つとして、『公益法人制度改革への対応』を掲げ、平成23年度の通常総会において、一般社団法人への移行に関する定款、事業見直し、公益目的支出計画など申請に必要な諸規定等の承認を頂き、その後具体的な作業を進めてまいりました。

その結果、平成 23 年 9 月 16 日に一般社団法人として電子申請し、12 月 15 日に「一般社団法人として認可に適合する」との答申が出ました。「認可通知受理後 2 週間以内に登記しなければならないこと」と、「平成 24 年 4 月 1 日スタートが最適であること」を勘案して、3 月 22 日付で認可通知書を発行して頂きました。4 月 1 日は日曜日でしたが、特例として移行登記のみ法務局で受付られました。

法務局も多忙な時期ですが、当日移行登記が 50 数件あったようです。4 月は一般の異動登記も多かったので、登記完了通知は 4 月 18 日付で受取り、4 月 1 日付で一般社団法人として正式にスタートしたことを確認しました。

永年の懸案事項でありました一般社団法人移行への課題が、平成 25 年の 11 月末日の移行期限前に余裕をもって完了したことに對し、ご尽力頂きました役員、会員の方々、そして関係機関の皆様にご心よりお礼申し上げます。

幸運を招く辰年に新たにスタートできましたのは、当協会が昇龍の如く大きく発展飛躍するものと思います。

平成 23 年度は、東日本大震災の影響を受け、原発事故、夏の電力不足への対応、タイの洪水による電子部品不足、継続的なデフレ状況など経営環境には、厳しい年でした。

このような状況下でしたが、情報産業界の一部には、これらの状況を解決する需要があり、利益は別として、特需的な多忙さもありません。

災害に強い通信情報システムを再構築する機運が官民を挙げて興り、これらをキャッチアップしたスタートの年でもありません。

さて、皆様のご希望にお応えした研修事業につきましては、上述のような厳しい環境下で、目標を達成できるか懸念してスタートしましたが、皆様方には、IT 業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂きましたので、今年の研修事業も昨年へ続き、所期の目標 210 名に対し、223 名を達成することができました。ここにあらためて御礼申し上げます。

新しいテーマとなっているクラウド化、スマートフォン、タブレット端末の利活用などに対するセミナーも実施し、多くの方にご参加頂きました。

2 ヶ月毎に実施してまいりましたビジネスコラボ会には、役員のみならず、一般会員の方々も参加され、お互いを深く知り、信頼感を醸成して、ビジネスの協業へ発展し成功しておられる例もあります。

情報提供事業では、上部団体(ANIA、JISA)、他団体、大学、行政からの情報を HP やメールで皆様にお届けしました。

平成 23 年度に賜りました皆様のご支援・ご協力に改めて感謝しご挨拶と致します。

一般社団法人 長崎県情報産業協会
会長 石橋 洋志

I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取組みや施策への提案を行い、国家プロジェクト(補助金)へ参画して、プロジェクトを推進し、成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 地元企業間連携(コラボ)による国家プロジェクトの推進

(1) 平成23年度次世代エネルギー技術実証事業

「電力需要抑制のモデル化と高自給率コミュニティの計画・運用体系化に関する実証事業」

1)実施事業者： 双日(株)、双日九州(株)、(株)双日総合研究所、(株)SIIS、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、沖コンサルティングソリューションズ(株)、People Power(株)、システムファイブ(株)、(株)ビーオルグ、ケービーソフトウェア(株)、(株)ドウアイネット、(株)NDKCOM (アンダーラインは会員企業のコラボレーション)

2)協力機関： 長崎県、佐世保市、ハウステンボス(株)、長崎総合科学大学、長崎次世代エネルギーパーク運営協議会

3)事業目的：

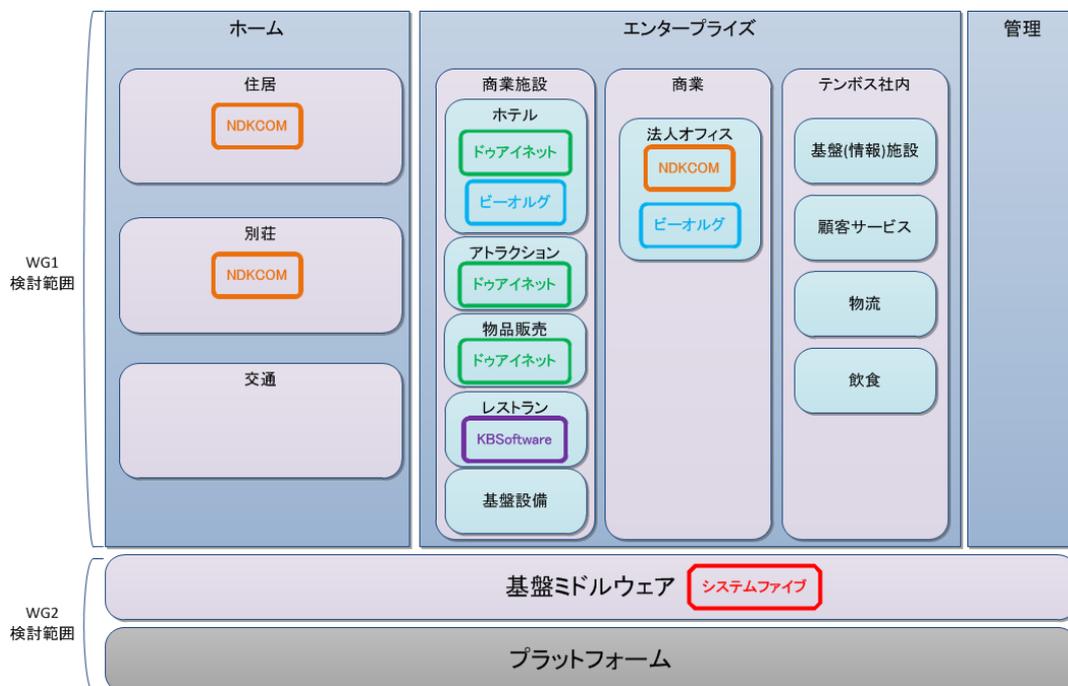
- i) 消費者に対して“見える化”にとどまらない、より積極的な行動変容を促すことで、コミュニティ全体の電力ピークカットおよび電力需給最適化を図る。
- ii) 上記仕組みをさまざまな企業(特に地元中小企業)が活用できるプラットフォームとして解放し、地元産業の促進および本実証事業終了後も継続した有効活用を図る。
- iii) 平常時だけでなく、災害時にも役に立つ情報インフラの枠組み作りを図る。

(* 次頁 災害対応型マイクログリッドシステム 参照)

4)事業内容：

- i) ユーザーの自発的な節電行動などに至る仕組みを実装したITシステム(プラットフォーム)の構築、および理想的なエネルギーシステムのキャパシティ最適化シミュレーション、経済性試算
- ii) 長崎地元企業による本プラットフォームを活用したサービス、アプリケーション開発
- iii) 災害対応メソッドを本プラットフォームに組み込み、災害時サービス/アプリケーションを検討・開発

5) 地元企業の担当領域



6) 本事業における3ヶ年事業目標

- i) 電力抑制達成目標: 前年度実績総使用量の10%
- ii) 総自給率達成目標: 25% (前年比+3%)
- iii) RE自給率達成目標: 11% (前年比+1%)

I・2 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)

(1)未来型ドライブ観光の創造

2009年、長崎県は長崎EV&ITSコンソーシアムを設立し、産学官の協力により、長崎におけるEV(電気自動車)と高度道路交通システム(ITS)の普及に着手。このプロジェクトは、充電インフラや、効果的な運用手法、サービスといったEV社会に必要なと考えられる場を実現している。長崎県は地域住民と協業し、ナビゲーション案内と連動した観光サービスや、地域産業による新しいEVの製造、太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用、そしてEVと統合された地域型スマートグリッドシステムの構築、といった新しいアイデアを生み出している。

そのゴールは、新しいビジネス・産業を創造し、地域の経済・社会を再生させることにある。地域の企業と学との連携を強化し、長崎発の世界標準と地域型ビジネスモデルを創出する。

特に、未来型ドライブ観光の実現に当たり、ユネスコ世界遺産の暫定候補である五島列島の環境保全に寄与すること、離島という特徴ある地域であることが、五島列島が選ばれた理由である。

下記ワーキンググループ(WG)：会員企業・NISA 参加。

NISAは、当初はWG3のみに参加していたが、県の要請により全てのWGに平成23年10月から参画している。

1)WG1 EV・充電設備関連：NISA(H23/10から参加)

WG長：(財)日本自動車研究所 FC・EV研究部 企画実証Gグループ長 荻野 方一氏

・関係機関：電力事業者、自動車メーカ、充電器メーカ等

・検討事項：i)EV導入・利用計画、ii)充電設備スペック、配電計画

iii)EVとITSの連携(CAN I/F等)等

2)WG2 ITS インフラ関連：NISA(H23/10から参加)

WG長：東京大学 生産技術研究所 先進モビリティ研究センター 准教授 牧野 浩志氏

・関係機関：電気メーカ、通信機メーカ等

・検討事項：i)ITS車載器スペック、ii)多言語対応、iii)DSRC、テレマティクス、活用場面整理

iv)決済サービス(ETC等)等

3)WG3 コンテンツ関連：NISA(最初から参加)

WG長：長崎県立大学 国際情報学部 教授 森田均氏

・関係機関：市町・県、地元企業・団体、情報関連企業、観光関連企業等

・検討事項：i)ニーズ把握、ii)サービス定義、フォーマット化、iii)コンテンツ整理

iv)地域情報の収集・提供等の運用方法等

4)WG4 エコアイランド関連：NISA(H23/10から参加)

WG長：慶応義塾大学 理工学部 准教授 西 宏章氏

・関係機関：市町・県、電力事業者等

・検討事項：i)太陽電池、マイクログリッド研究の推進等

(2)長崎EV&ITSプロジェクト推進事業「地元事業化」に対する長崎県の施策

長崎県では、地元企業のEV関連産業への参入を支援するために、下記事業を創設。

これらの事業により、地元企業が具体的な活動を展開している。

1)地元企業化検討会議 参加団体61団体、新規参入募集中

2)事業化可能性調査委託事業

EV、充電設備、ITS等の関連分野における研究開発、事業化、商品化を行うにあたり、事前に必要な市場調査、事業化可能性調査を委託事業として実施：委託費上限 3,000千円

3)事業促進事業

EV、充電設備、ITS等の関連分野における製品の研究開発、試作品開発等を行うために必要となる経費助成の一部を助成：補助率 3/4、補助金上限 8,000千円

(3)地元企業のEV関連産業への参入状況

1)急速充電ネットワークシステム開発(WG1) 協和機電工業

2)観光情報プラットフォームシステム開発(WG3) ランカードコム、扇精光、ドウアイネット

3)災害に強いグリーンパワー複合型マイクログリッドシステムの長崎モデルに関する

事業化可能性調査(WG4) 協和機電工業、MHIコントロールシステムズ、システムファイブ

i)コンセプト

- ①災害時に系統連系送電が途絶えても、独立分散型電源として避難所の必要最小限度の電力が確保できる。
- ②災害時にも少なくとも1機の GP 機器は機能し、蓄電池と合わせて3日間の避難所電力に対応可能とする。 * GP=Green Power
- ③平常時は系統連系して運用するために、できるだけ低コストのシステムとする。
特に蓄電池の低コストを図るために EV 搭載電池や今後増加が確実な廃 EV 電池の活用を図る。
- ④避難所は車で迅速な避難が可能で、且つ比較的高台に位置する「道の駅」や「公共施設」等を検討する。

ii) システムの構想

- ①導入台数の多い EV 搭載電池を蓄電池として積極活用により低コスト化を図る。
- ②多入力パワーコントロールと小水力発電の活用により GP の高品質化と平準化を図る。
* GP=Green Power

(4) 情報コンテンツ関連 WG3 の開催状況報告 H23 年度の開催状況は下記の通り。NISA 参加。

1) 第 1 回 情報コンテンツ関連 WG3 H23-6-24(金) 10:30~12:30

長崎会場 長崎県立大学シーボルト校 特別会議室

東京会場 慶應義塾大学三田キャンパス 東館4階セミナー室

i) 報告テーマ: 未来型ドライブ観光ナビサービス画面検討経過の報告

ii) 検討事項:

- ①本年度の WG3 での討議内容、討議スケジュールほか

2) 第 2 回 情報コンテンツ関連 WG3 H23-9-28(水) 13:00~15:00、五島市

13:00~14:00 体験会 福江港、14:00~16:00 ワーキング

3) 第 3 回 情報コンテンツ関連 WG3 H24-1-20(金) 12:30~14:30

長崎会場 出島交流会館 9階会議室

東京会場 日本工営株式会社 本社3階A会議室

i) 現在までの状況説明、ii) 今年度の検討項目、iii) 今年度の総括、次年度の予定

(5) WG2/WG3 合同会議の開催状況報告 H23 年度の開催状況は下記の通り。NISA 参加

1) 第 1 回 WG2/WG3 合同 H23-8-1(月) 13:00~15:00

長崎会場 長崎県立大学シーボルト校 特別会議室

東京会場 慶應義塾大学三田キャンパス 東館4階セミナー室

i) 報告: WG2,3 の前回 WG の討議結果

ii) 検討事項:

- ①WG2,3 の前回 WG の討議結果、②WG3 のリクワイアメントとWG2 の実現可能性の検討について
- ③今後のスケジュール

2) 第 2 回 WG2/WG3 合同 H23-10-14(月) 10:00~12:00

長崎会場 長崎県立大学シーボルト校 特別会議室

東京会場 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6,7 階 G-sec Lab 室

3) 第 3 回 WG2/WG3 合同 H24-3-13(火) 14:00~16:00

東京会場 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6,7 階 G-sec Lab 室

i) 非 IP サービスの実現課題、ii) 複数 poi によるルート案内の要求条件

(6) 長崎EV&ITSプロジェクト「地元事業化検討会」会議・セミナー

1) 第4回会議(セミナー) H23-6-3(金) 15:00~17:30、出島交流会館9階展示交流室

i) 講演 講師: 電気自動車普及協議会 代表幹事 田嶋 伸博 氏

ii) 長崎EV&ITSプロジェクト成果等報告、iii) 県支援制度説明、iv) 意見交換

2) 第5回会議(セミナー) H23-12-13(金) 15:00~17:30

長崎大学 文教キャンパス 総合教育研究棟2F多目的ホール

i) 報告: 長崎 EV&ITS プロジェクト最新状況報告

長崎県 産業労働部 政策監[EV&ITS推進担当] 鈴木 高宏 氏

(東京大学 先進モビリティ研究センター 客員准教授)

ii) 特別講演1: 「駐車場ITSと観光地への展開」

東京大学 生産技術研究所 講師 田中 伸治 氏

I・3 東長崎エコタウン（HP より）

(1) 東長崎エコタウン協議会 …… NISA 会員

1) 設立趣旨

長崎総合科学大学が持つ「環境エネルギーの創出、蓄電、制御技術」等の研究成果を積極的に社会貢献、地域貢献に生かす為、東長崎地区で行う「次世代エネルギーの地産地消」、「環境に優しく安全・安心なまちづくり」に関する調査・研究・実証試験の支援を目的とする。

これに賛同する関連企業、団体、地域自治会、大学、行政機関等、各界各層の英知を結集し、長崎県内はもとより、全国のモデル地域となり得るような先駆的取組みを目指す。

2) 役員等

| | 氏名 | 所 属 |
|--------|-------------|--|
| 会 長 | 山邊 時雄 | 長崎総合科学大学 新技術創成研究所 所長 |
| 副会長 | 佐藤 康彦 | システムファイブ(株) 代表取締役 |
| 幹 事 | 綾部 健 | 橘中学校区自治会連合会 副会長 |
| | 渡邊 一則 | 東長崎地区自治会連合会 副会長 |
| | 武本 家彦 | 矢上校区自治会連合会 副会長 |
| | 山下 政郎 | (株)東洋ガス 代表取締役 |
| | 江藤 春日 | (株)MHI コントロールシステムズ 主幹 |
| | 川浪 義光 | (株)アパール長崎 代表取締役 |
| | 吉田 博久 | 協和機電工業(株) 技術統括 |
| | 都々木信吾 | 長崎市 産業雇用政策 課長 |
| | 植田 勝征 | (財)長崎県産業振興財団 技術統括 |
| | 今泉 泰史 | 長崎県中小企業団体中央会 工業振興課 主事 |
| 谷本 和明 | 長崎総合科学大学 教授 | |
| 田中 義人 | 長崎総合科学大学 教授 | |
| 田中 俊彦 | 長崎総合科学大学 教授 | |
| 監査 | 末光 進 | NPO 産業推進機構長崎 事務局長 |
| 事務局長 | 池上 国広 | 長崎総合科学大学 産官学連携センター長 |
| 事務局 | 川竹 成稔 | 長崎総合科学大学 産官学連携センター |
| オブザーバー | | 長崎県 産業労働部 産業技術課 長崎県 産業労働部 グリーンニューディール推進室 九州電力(株)長崎お客さまセンター |

3) NISA の会員

(株)NDKCOM、(株)MHI コントロールシステムズ、扇精光(株)、九州教具(株)、システムファイブ(株)、(株)ドゥアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)ビーオルグ、富士通(株) 長崎支店

4) 部会

i) インフラ部会（座長：谷本和明）

電力網等の基盤整備を進める上で、行政上の問題や、法規制等、或いは国への助成申請などの視点から、実現可能性を検討する、主に行政・関係団体を中心としたグループ。

ii) シーズ部会（座長：田中義人）

技術シーズを集約し、技術適用性の具体化、設計、実現可能性を検討する、主に産業界を中心としたグループ。

iii) ニーズ部会（座長：田中俊彦）

町の特徴にあったものや地域からの要望を検討する、主に地域住民を中心としたグループ。

(2) 東長崎エコタウン構想

東長崎地区に、低炭素社会に向けた未来型エコタウンをつくり、実証実験を行うことを目的。

1) CO₂と廃棄物の発生が少ない町 → スマートグリッド技術

- ・下水処理の汚泥からのメタンガスによる発電
- ・バイオマスからのメタンガス、エタノールによる発電
- ・公園、家屋の屋根のソーラー発電

2) 人と自然と技術が共生する町

3) 安心して暮らせる町を目指し、地域の住民、企業、自治体、大学が共同した研究プロジェクトの立ち上げ

(3) 補助金事業

1) 国土交通省: 「温室効果ガスを排出しない次世代型下水汚泥固形燃料化技術」 採択

i) 実施者: 長崎市・長崎総合科学大学・三菱長崎機工(株) 共同研究体

ii) 実証フィールド: 長崎市東部下水処理場

iii) 事業概要: 連続式水熱反応器および高速消化槽を用いて生成した消化ガスを利用して消化汚泥を固形燃料化することによるコスト縮減効果や再生可能エネルギー創出効果等を実証する。

2) 文部科学省: 「緑の知の拠点事業」に『東長崎エコタウン構想』 採択

I・4 電子自治体関連

(1) 「Open COBOL 活用研究会」活動

1) Open COBOL 活用セミナー

長崎県のレガシーシステムのマイグレーションに利用した Open COBOL 資産の活用を推進するために、県内の汎用コンピュータを利用している自治体・企業に呼びかけ、Open COBOL 活用セミナーを開催。

参加: 自治体から5団体11名と民間から5名の計16名

i) 日時: H24-3-9(金) 14:00~16:30、ii) 場所: 出島交流会館

iii) 開催内容:

① 汎用機マイグレーション(=ダウンサイジング)手法 NDKCOM 代表取締役社長 中野 一英氏

② 汎用機マイグレーションの課題と解決手法について ランカードコム 代表取締役社長 峰松 浩樹氏

iv) 主催: OpenCOBOL 活用研究会、後援: 長崎県、NISA

I・5 長崎県高度情報化推進協議会(長崎県) : 石橋会長 出席

(1) 第1回幹事会 H23-5-11(水)~17(火)意見集約(メール開催)

(2) 第1回 総会 H23-5-20(金)~5-25(水)(メール開催)

1) 平成 22 年度決算報告、事業実績報告及び監査報告について

2) 平成 23 年度の活動方針(案)について

3) 平成 23 年度予算(案)及び事業計画(案)報告について

(3) 第2回 総会 H24-3-7(水)~3-14(水)(メール開催)

1) 長崎県高度情報化推進協議会の解散について

2) 協議会資産の今後の扱いについて

(4) 平成 23 年度 第 2 回総会議案の承認について(報告) H24-3-22(木)

会員数 151(議長(会長)を除き、役員25を含む)、回答総数 32

1) 議案1: 長崎県高度情報化推進協議会の解散について

承認: 32、不承認: 0、未回答(議長委任): 119

2) 議案2: 長崎県高度情報化推進協議会の残余財産の帰属について

承認: 31、不承認: 0、未回答(議長委任): 120

よって、議案は全て承認された。

(5) 幹事会・コアメンバー会議(敬称略): 石橋会長出席

1) 第1回幹事会 H23-5-11(水)~17(火) (メール開催)

2) コアメンバー会議

【経緯】

協議会の実質的な議論をする場として、コアメンバー会議(平成 21 年度通常総会で、コアメンバー規約化を承認)を設置。平成 20 年 3 月から平成 23 年 3 月まで 13 回開催された。

i) 第 14 回 H23-11-15(火) 16:00~

① 協議会以後の産学官他の連携体制について

② コアメンバー意見集約結果など

ii) 第 15 回 H24-2-6(月) 14:00~18:00

出席者: 長崎新聞社 石丸メディア編集部長、長崎経済同友会 石丸企画委員、

- 長崎総合科学大学 横山環境人間環境学科教授
事務局(長崎県情報政策課)、島村政策監、吉村課長、山崎総括、猿渡班長、中村 昌氏、森氏
- ①「ながさき地域情報化研究会」事業案について
 - ②県高度情報化推進協議会総会について
 - ③「ながさき ICT 利活用指針」に関する意見集約

I・6 組込みソフト研究会(ES-Nagasaki)(敬称略) :会長 佐藤 康彦

長崎県組込みソフト研究会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連団体・企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援すべく、H22年6月に結成、活動を開始、下記のWG(ワーキンググループ)を結成。

目的は、県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- ①地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援
- ②企業による県等の補助金申請書作成への支援
- ③関連情報の提供とパートナーの紹介
- ④長崎県内/九州域内のネットワークを通じた支援

- 1)WG-1 農水工連携WG (主)川添(NET-C)、(副)川下(佐世保高専)
 - 2)WG-2 メディカルサービス WG (主)佐藤(システムファイブ)、(副)下島(総科大)
 - 3)WG-3 グリーンエネルギーWG (主)江藤(MHI コントロールシステムズ)、(副)田中(総科大)
 - 4)WG-4 Android 応用技術 WG (主)深堀、(副)蒲原(総科大)
- (注)主リーダーは企業関係者、副リーダーは学校関係者

(1)九州組込みサミット2011 in Nagasaki ～スマートタウンの中での組込みシステムの応用～ &「クラウドコンピューティングの広がり:エネルギー分野」研究会合同開催

H23-12-2(水) ベストウエスタンプレミアホテル長崎

1)「クラウドコンピューティングの広がり:エネルギー分野」研究会

セミナー①:クリーンエネルギーの開発事例、風力発電等

(株)MHIコントロールシステムズ 製品開発技術部 主幹 江藤 春日

セミナー②:「スマートシティ、スマートハウス、スマートエネルギー」とIT

日経BP社クリーンテック研究所 研究員 志度 昌宏

2)九州組込みサミット 2011 in Nagasaki

i)基調講演:「長崎でのエネルギー関連プロジェクトの動向」

長崎総合科学大学 学長 貴島 勝郎

ii)招待講演:「パーソナル・ヘルスケア最新情報」

インテル(株) 事業開発本部 事業開発部長 田上 信介

iii)全体ワークショップ「スマートタウンの中での組込みシステムの応用」

ファシリテーター 長崎総合科学大学 情報学部教授 田中 義人

【テーマ1】スマートコミュニティとマイクログリッド

日本ナショナルインスツルメンツ(株) 事業開発部 事業部長 早川 周作

dSPACE Japan (株) 社長 有馬 仁志

協和機電工業(株) 技術統括 吉田 博久

【テーマ2】スマートコミュニティとEV&ITS (長崎エビッツのWG2,WG3 に対応)

長崎県立大学 国際情報学部 教授 森田 均

【テーマ3】スマートコミュニティと医療・福祉の情報化

(株)ロジカルプロダクト 社長 辻 卓則

システムファイブ(株) 社長 佐藤 康彦

iv)ワークショップ総評ならびに「今年度の組込みサミットを終えて」

ES-Kyushu 副会長、九州大学システムLSI 研究センター センター長、

九州大学大学院教授 福田 晃

I・7 シーテックジャパン2011「長崎県」ブースへの出展 (長崎県)

ビジネス&ソサエティゾーンに出展

H23-10-4(火)～8(土) 5日間、会場 幕張メッセ (千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1)

参加企業: H23 年度 参加会員企業 オフィスメーション、システムファイブ、ランカードコム 3社

I・8 長崎県工業技術センターとの交流会 H23-8-26(金) 15:00~16:20 出島交流会館・プレゼン交流室

- 1) 目的: 工業技術センターと会員との直接対話の機会を増やし、センターの研究成果の普及を図り、技術交流の充実強化を目的。
- 2) 工業技術センターの参加者(敬称略:9名)
所 長 安藤 清、基盤技術部長 高見 修、機械システム科長 兵頭 竜二、機械システム科専門研究員 田口 喜祥、電子情報科長 指方 顕、電子情報 専門研究員 下村 義昭、電子情報科主任研究員 堀江 貴雄、研究企画課長 藤本 和貴、研究企画課専門研究員 小笠原 耕太郎
- 3) NISA の参加者 役員会メンバー
- 3) 内容: i) 工業技術センターの活動概要紹介
ii) 電子情報関係(組込み技術等)の開発事例紹介
・全自動収穫ロボットシステムの開発
・環境変動に対応した移動システムの開発 ~ 無人搬送車システムの開発~
・複合センサを用いた遠隔監視装置の開発
・光学的非破壊・非侵襲計測技術 ~ 食品の品質管理から生体医療診断へ~
・高糖度果実生産のための水分ストレス計の開発
iii) 意見交換

I・9 長崎市関連**(1) 長崎市 WEB サイト外国語表記支援事業費補助金**

- 1) 目的: 経済成長が著しいアジア諸国等海外市場への販路拡大を目指すために、外国語表記 WEB サイトを構築しようとする事業者に対して補助。
- 2) 事業概要:
 - i) 補助金名称: 長崎市 WEB サイト外国語表記支援事業費補助金
 - ii) 対象: 長崎市内に本社又は本店を有し、税の滞納がない中小企業者、農業・漁業者で構成する団体、商店街を形成する事業者の団体 など
 - iii) 補助対象経費: WEB サイト構築委託料及び外国語翻訳費 など
 - iv) 補助率: 2 分の 1 以内
 - v) 補助限度額: 20 万円
 - vi) 募集締切 H24-2-29(水)

(2) 長崎市経済振興会議の委員(須藤理事)

担当部署: 長崎市経済局商工部 中小企業振興室→産業雇用政策課

目的: 「若手経営者中心で現場の声を長崎市の施策に活かすため、市の経済成長戦略に掲げる内容に沿って委員を構成(産業、食、観光が軸)」、協会から委員として、須藤理事を推薦。

構成委員: 6 名

1) 第 1 回、H23-11-24(木) 14:00~、長崎市男女共同参画推進センター会議室 1

- i) 長崎市第四次総合計画の概要について(説明)
- ii) 現在の主な経済振興施策について(説明)
- iii) 第二次長崎市経済成長戦略の概要について(説明)
- iv) 今後の経済振興施策について(協議)

2) 第 2 回 H24-2-8(水) 14:30~、市職員会館 4F 研修室

- i) 今後の経済振興施策について

I・10 長崎県中小企業団体中央会関連(敬称略)**(1) 業務災害補償制度「経営ダブルアシスト」説明会** H23-10-28(金) 15:00~15:30

全国中小企業団体中央会の業務災害補償制度の説明

長崎県中小企業団体中央会 野村 正人

東京海上日動火災保険(株) 佐伯 正道、(株)HAC 総合金融推進部 保険・証券担当 手嶋 康大

(2) 「業務災害補償制度」推進と「制度普及推進費」説明 H24-2-24(金) 15:15~15:45

長崎県中小企業団体中央会 業務推進課 主事 若杉 博幸

(株)HAC 総合金融推進部 保険・証券担当 手嶋 康大

(3) 中小企業景況調査

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------|--------------|
| 1) 平成 23 年度 第 1 四半期 (H23 年 04~06 月期) | 調査期間 5/30~6/3 | (調査時点 5/30) |
| 2) 平成 23 年度 第 2 四半期 (H23 年 07~09 月期) | 調査期間 8/12~8/31 | (調査時点 8/30) |
| 3) 平成 23 年度 第 3 四半期 (H23 年 10~12 月期) | 調査期間 11/4~11/14 | (調査時点 11/13) |
| 4) 平成 23 年度 第 4 四半期 (H24 年 01~03 月期) | 調査期間 2/8~ 2/27 | (調査時点 2/28) |

II 交 流 事 業

II・1 海外との交流事業（今年度 無）

II・2 他団体・大学等との交流事業（敬称略）

(1) ANIA 通常総会と関連行事（敬称略） H23-6-16（木）

東海大学交友会館 出席者：石橋会長、事務局長

1) 通常総会 15:00～16:60 出席 16 委任状4（正会員数 20）

議案 i)平成 22 年度事業報告・収支決算報告、ii)会費変更案について、iii)平成 23 年度事業計画・収支予算、iv)理事の選任について

2) 講演会 H23-6-16（木）16:20～17:00

i) 演題1 『地域における情報政策について』

講師 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 土橋 秀義

ii) 演題2 『地域情報化施策』

講師 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 西泉 彰雄

3) 懇親会 H23-6-16（木） 17:15～19:00 東海大学交友会館 レストラン けやき

(2) ANIA 臨時総会（敬称略）

1) 第 1 回 ANIA 臨時総会 H23-11-10（木） 11:30～11:35 ホテルグランヴィア京都 3 階 栄華の間

i) 理事選任の件（大内田勇成理事の後任として奥山利樹を選任）

2) 第 2 回 ANIA 臨時総会 H24-2-2（木） 16:00～16:10 東海大学校友会館「相模の間」

i) 理事選任の件（黒坂則恭副会長の後任として 若林邦彦理事を選任）

(3) 第 33 回 全情連大会「ANIA 京都大会」への参加（京都府情報産業協会 10 周年記念）（敬称略）

一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会（略称：ANIA）では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催し、平成 23 年は、観光都市「京都」の地で開催された。

NISA 出席者：5 名（石橋会長、浜本副会長、須藤理事、富士通長崎支店横枕支店長、事務局長）

開催：平成 23-11-10（木）～11（金）、ホテルグランヴィア京都

次回開催：H24 年度 ANIA 全国大会は宮崎で開催することを今回の理事会で決定、大会で発表された。

1) ANIA 大会及び京都府情報産業協会 10 周年記念式典 H24-11-10（木） 13:00～14:05

i) オープニングムービー

ii) 開催挨拶

iii) 主催者挨拶

iv) 来賓挨拶

経済産業省 商務情報政策局 地域情報化・人材育成推進室長 小林 信彦

総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 西泉 彰雄

京都府 副知事 太田 昇

京都市 副市長 細見 吉郎

v) ANIA 功労表彰、京都府情報産業協会記念表彰（優秀役職員表彰 2 名、感謝状 2 名）

①(社)京都府情報産業協会 第 2 代会長 北村 昱

②(社)京都府情報産業協会 第 3 代会長 植田 弘毅

③(一般社団法人)全国地域情報産業団体連合会 副会長 元会長

(社)長野県情報サービス振興協会 会長、(株)電算 取締役相談役 黒坂 則恭

④(社)京都府情報産業協会 顧問、けいしんリサーチ(株)相談役 北山 寛巳

2) 10 周年記念ビデオ上映

3) 基調講演（15:00～16:00）「時代を読む」 講師：田原 総一郎 ジャーナリスト

4) 講演（16:15～16:45）「これが日本の歩む道」ビル・トッテン (株)アシスト 代表取締役

5) パネルディスカッション（16:50～17:30）「これからの日本を考え京都の暮らしの知恵に学ぶ」

ビル・トッテン、田中 峰子（富田屋社長）、コーディネータ 長谷川 亘

6) 懇親会（17:45～20:00）

i) 開宴挨拶 (社)京都府情報産業協会 会長 長谷川 亘

ii) 来賓ご挨拶 近畿経済局 地域経済部次長 伊藤 哲郎

近畿総合通信局 情報通信部長 太田 清生

京都府 企画理事 山下 晃生

- iii) 乾 杯 一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 会長
- iv) 中締め挨拶 (社)京都府情報産業協会 橋田副会長

(4) ANIA 新春交流会(東京サテライト展示交流会)

H24-2-2(木) 18:00~19:30 東海大学校友会館「富士の間」、霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35 階
 参加者: 来賓 18 名、会員 63 名(うち Nisa5 名: 石橋会長、浜本副会長(代理: 神奈川事業所長 取締役所長 原田 学)、荒川理事、ビーオルグ 福田社長、事務局長)

(5) ANIA 理事会

石橋会長が、ANIA の理事であるため出席、事務局は、オブザーバー出席。

- 1) 第 1 回理事会 H23-4-12(火) 13:00~15:00 ミーティングプラザ新橋
 石橋会長 出席、事務局長及び故島 オブザーバー出席。出席理事 7 名(理事数 11 名)
 i) 平成 22 年度事業報告及び収支報告、ii) 平成 23 年度事業計画及び収支計画
 iii) 役員改選の件、iv) 総会の件、v) 全国大会の件、vi) 報告事項
 vii) 経済産業省 緊急施策説明
- 2) 第 2 回理事会 H23-6-16(木) 14:00~14:10 東海大学交友会館 阿蘇の間
 石橋会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事 7 名(理事数 11 名)
 i) 会長(代表理事)選任の件(中村真規氏を選任)
- 3) 第 3 回理事会 H23-11-10(木) 11:35~12:20 ホテルグランヴィア京都 3 階 栄華の間
 石橋会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事 10 名(理事数 11 名)
 i) 副会長の互選の件、ii) 新春交歓会の件、iii) 来年度の全国大会開催の件
 iv) 部会担当理事の選任の件
- 4) 第 4 回理事会 H24-2-2(木) 16:10~18:00 大学校友会館「相模の間」
 石橋会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事 8 名(理事数 11 名)
 i) 副会長の互選の件(黒坂則恭副会長の後任として若林邦彦理事を選任)、ii) 新春交歓会の件
 iii) 来年度の全国大会開催の件、iv) 来期の活動方針の件、v) 総会の件
 vi) 部会規定の件、vii) 済州国際自由都市開発センターとの MOU の件

(6) ANIA 事務局長連絡会議 事務局長 出席

- 1) 第 1 回事務局長連絡会議 H23-4-13(金) 10:00~15:00 長水建設会館 3F 研修室、出席 21 名
 i) 各県より現状及び協会活動等の件 ii) 一般社団法人への移行の件 iii) 全国大会(京都)の件
- 2) 第 2 回事務局長連絡会議 H23-6-17(金) 10:00~12:30 ミーティングプラザ新橋、出席 16 名 事務局 2 名
 i) 各県より現状及び協会活動等の件 ii) 一般社団法人への移行の件 iii) 全国大会(京都)の件
 iv) クラウド化への取組状況、視察等
- 3) 第 3 回事務局長連絡会議 H23-11-10(木) 10:00~11:00 ホテルグランヴィア京都 3 階 出席 17 名
 i) 京都大会事務連絡事項 ii) 各協会の状況報告資料に対する質疑応答
 iii) 全国大会(京都)について iv) H24 年新春交歓会について v) 来年の全国大会について
- 4) 第 4 回事務局長連絡会議 H24-2-3(金) 10:00~12:00 ミーティングプラザ新橋、出席 14 名
 i) 各県より現状及び協会活動等の件 ii) 一般・公益社団法人への移行の件
 iii) 情報処理技術者試験について

5) 関連する省庁、団体、施策等

- i) 総務省地方情報化推進室
- ii) 全国地域情報化推進協会
 - ① 第 1 回 合同部会 H23-5-12(木) 13:00~17:00 ミーティングプラザ新橋、会員企業 20 名
 i) 総務省 秋本課長講演・意見交換、ii) ICT の利活用について
 iii) 総務省、経産省の地域関連施策、23 年度予算について、iv) APPLIC 委員会活動報告
 - ② 第 2 回 合同部会 H23-10-19(水) 11:00~15:00 ミーティングプラザ新橋、会員企業 12 名
 i) 経産省 小林室長講演・意見交換、ii) アメリカクラウド視察報告・反省会
 iii) 総務省、経産省の地域関連施策、23 年度予算について、iv) APPLIC 委員会活動報告
 - ③ 第 3 回 合同部会 H24-1-13(金) 13:00~15:00 ミーティングプラザ新橋、会員企業 16 名
 i) 総務省 秋本課長講演・意見交換、ii) 会員企業が取り組める地域 ICT 利活用について
 iii) 地域にとって必要な ICT 機器、サービス、ソフトについて

(7) JISA 九州・沖縄支部会(福岡)(敬称略) H23-12-2(金) 14:00~18:30 石橋会長出席

ホテルニューオータニ博多 3F「ローズルーム」、懇親会「羽衣・末広」

- 1) 会議 3F「ローズルーム」14:00~16:55
 i) 主催者 挨拶 九州・沖縄地区代表幹事 中川 正裕

- ii) JISA 副会長 挨拶 情報サービス産業協会 九州・沖縄地区担当 五十嵐 隆
 - iii) 情報サービス産業の動向と経済産業省における情報政策について 14:10～14:40
経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 係長 恵藤 洋
 - iv) JISA 本部報告 14:40～15:30 情報サービス産業協会 副会長・専務理事
河野 憲裕
 - v) 講演『これからの日本の政局を読む』 15:40～16:55
講師:西日本新聞社 前論説委員長[現監査役] 豊田 滋通
- 2) 懇親会 3F「羽衣・末広」 17:00～18:30

(8)九州内情報サービス産業協会関連団体 連絡会議(敬称略) H23-12-1(木) 16:00～17:30

九州経済連合会会議室 福岡市中央区天神 1-10-24(天神セントラルプレイス 6 階)

出席:石橋会長、事務局長

各情報産業協会訪問の折、九州地区情報サービス産業関係団体の連絡会議の開催要望があり、熊本県情報サービス産業協会が世話役となり下記開催。

今回は、初の連絡会であり、今後の進め方を議論され、継続的に開催されることになった。

1)参加メンバー: 各協会等の会長と事務局長

- (社)福岡県情報サービス産業協会 会長 奥山 利樹、事務局長 河野 達治
- 佐賀県ソフトウェア協同組合 理事長 浅川 達夫、副理事長 城島 浩文、事務局長 中原 浩樹
- 熊本県情報サービス産業協会 会長 足立 國功、副会長 豊田 駿一、事務局長 諫山 徹也
- 大分県情報サービス産業協会 会長 森 秀文、事務局長 後藤 宗平
- (株)宮崎県ソフトウェアセンター 事務局長 二川 眞一
- (社)長崎県情報産業協会 会長 石橋 洋志、事務局長 岩永 俊之

2)招待者

- i)九州経済産業局地域経済部長 平井 淳生(欠席)
地域経済部 情報政策課 課長 松谷 昭一郎(挨拶)、係長 松本 孝之
- ii)九州総合通信局 情報通信部長 室山 喜昭(挨拶)、電気通信
事業課 岩崎 恭二
- iii)(社)九州経済連合会 専務理事、惣福脇 亨(挨拶)、社会資本部長 荒木 三喜
産業第一部長兼環境部長、箆島 修三(おさじま)

3)議題

- i)開会 世話人挨拶(くまもと情産協 足立 國功)、ii)来賓挨拶、iii)各団体の現況報告

II・3通常総会・臨時総会・講演会・交流会

(1)第 18 回通常総会 H23-6-24(金) 15:00～16:30 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)出席会員数 正会員出席 33 名、委任状 30 名、合計 63 名(総正会員 65 社)

2)議 題

- i)第 1 号議案 議事録署名人の選任の件
- ii)第 2 号議案 平成 22 年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
- iii)第 3 号議案 平成 23 年度 事業計画並びに収支予算 承認の件
- iv)第 4 号議案 一般社団法人への移行 承認の件
- v)第 5 号議案 新法人移行後の定款変更案 承認の件
- vi)第 6 号議案 公益目的計画 承認の件
- vii)第 7 号議案 理事交代の件
- viii)第 8 号議案 その他の議案

(2)第 18 回通常総会 講演会 H23-6-24(金) 16:40～17:45 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)演題:「クラウド化、スマートグリッド化時代における長崎エビッツの意義と地元情報産業の役割」

《詳細は P17 V 講演・セミナー事業(2)・1)を参照》

2)講師(敬称略):長崎県産業労働部 政策監(EV&ITS推進担当) 鈴木 高宏

3)聴講者 :54 名(会員 54 名)

(3)新年度 会員交流会 H23-6-24(金) 18:00～20:15 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」

参加者:57 名(会員 52 名+来賓 5 名)

(4)臨時総会 H24-1-27(金) 14:30～14:45 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)出席会員数 正会員出席 35 名、委任状 25 名、合計 60 名(総正会員 65 社)

2)議 題

- i)第 1 号議案 議事録署名人の選任の件

- ii) 第 2 号議案 理事交代の件
- iii) 第 3 号議案 その他の議案

(5) 新春講演会 H24-1-27(金) 16:00~17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

- 1) 演題 :『ユビキタスタウンにおける無線通信の現状と未来』
~無線通信の問題点と解決策を現実に沿った視点で展望する~
《詳細は P17、V 講演・セミナー事業(2)・3)を参照》
- 2) 講師(敬称略) : (株)にんじんネット 代表取締役会長 藤澤 等
- 3) 聴講者 : 86 名(会員 68 名+非会員 18 名)

(6) 新春産学官交流会 H24-1-27(金) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」

参加者:総数 74 名(会員 56 名+来賓 18 名)

II・4 我が社の一押し

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2 回/年開催した。

(1) 6月:通常総会時(敬称略) :H23-6-24(金)

- 1) (株)PAL 構造 「3次元画像を用いた牛の生産管理システムの開発」
発表者 情報システム部 システム1課 主務 中濱 剛
- 2) (学)長崎情報ビジネス専門学校 「新しい時代と産業界が求める優れた即戦力となる人材育成」
発表者 教務部 情報系学科 科長 徳永 潔

(2) 1月:新春産学官交流会開催時(敬称略) :H24-1-27(金)

- 1) 扇精光(株) 「我社の GIS と携帯アプリ」紹介
発表者 空間情報開発室 室長 山口 文春
- 2) (株)ドゥアイネット 「ここまで来た最新AR(拡張現実)アプリ」
発表者 代表取締役社長 土井 幸喜

II・5 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

- 1) 第 9 回 H23- 4-27 (水) 18:30~20:00 《宴家 そく彩》
- 2) 第 10 回 H23- 8-26 (木) 18:00~20:00 《ホテル ニュー長崎》
- 3) 第 11 回 H23-10-28 (金) 18:00~20:00 《えびす》
- 4) 第 12 回 H23-12-20 (金) 18:00~20:00 《椿》
- 5) 第 13 回 H24- 3-23 (金) 18:00~20:00 《旬菜居酒屋 SaKuRa》

Ⅲ 研修事業

Ⅲ・1 長崎県支援による研修事業

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で研修ができなくなり、長崎県商工労働部のご支援により、平成 20 年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成 23 年度は、皆様からのアンケート結果に応え 26 講座を設定し、うち 1 講座は中止したが受講者は目標であった 210 人を上回り、223 人になり所期の目的を達成した。

受講された企業の皆様に厚く感謝を申し上げます。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤技術委員長を中心に、江崎副技術委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、成功裏に終了することができた。

研修計画から運営まで、ご協力頂いた FSC、FOM、FLM にも感謝申し上げます。

| No. | 講座名 | 開催日 | 日数 | 人数 |
|-----|--------------------------|-------------|----|-----|
| 1 | ネットワークの基礎 | 4/26・27 | 2 | 11 |
| 2 | システム設計技術・開発技法編 | 5/11・12・13 | 3 | 13 |
| 3 | システム設計技術・ワークショップ編 | 5/16・17・18 | 3 | 11 |
| 4 | プロジェクト管理 | 5/25・26・27 | 3 | 10 |
| 5 | Web技術 | 6/2・3 | 2 | 5 |
| 6 | データベース技術の基礎 | 6/9・10 | 2 | 5 |
| 7 | 信頼されるSEに求められる問題解決スキル | 6/16・17 | 2 | 16 |
| 8 | Javaプログラミング | 6/22・23・24 | 3 | 5 |
| 9 | JSPサーブレット入門 | 7/6・7・8 | 3 | 5 |
| 10 | データベース設計/操作 | 7/13・14・15 | 3 | 9 |
| 11 | Windowsのサーバ管理 | 7/26・27 | 2 | 中止 |
| 12 | ネットワーク設計/構築 | 8/10・11・12 | 3 | 7 |
| 13 | プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の基礎 | 8/18・19 | 2 | 17 |
| 14 | Java Webシステム | 8/24・25・26 | 3 | 4 |
| 15 | VBによる.NETプログラミング | 9/7・8・9 | 3 | 4 |
| 16 | C#プログラミング | 9/14・15・16 | 3 | 4 |
| 17 | 失敗しないプロジェクトのための段取り力 | 9/28・29・30 | 3 | 12 |
| 18 | ポジティブ・マネージメント | 10/6・7 | 2 | 6 |
| 19 | テストと品質 | 10/19・20・21 | 2 | 18 |
| 20 | DOAによるシステム分析・設計 | 11/9・10・11 | 3 | 16 |
| 21 | ITプロフェッショナルのためのコミュニケーション | 11/16・17・18 | 3 | 10 |
| 22 | ネットワークセキュリティ | 12/8・9 | 2 | 5 |
| 23 | SEに求められるヒアリングスキル | 12/15・16 | 2 | 6 |
| 24 | OOAによるシステム分析・設計 | 1/11・12・13 | 3 | 14 |
| 25 | 3分でクライアントの心を掴む！プレゼンテクニック | 1/18・19 | 2 | 5 |
| 26 | ITプロフェッショナルのためのネゴシエーション | 2/8・9・10 | 3 | 5 |
| | 合 計 | | 68 | 223 |

Ⅲ・2 JISA 補助金による研修

JISA からの補助金「地域高度 IT 技術者育成」で下記を実施した

(1) クラウドコンピューティングの活用実践

H23-12-20(火) Nisa 研修室 受講者 6 名

(2) 最新 Web アプリケーション(HTML5/CSS/JavaScript)

H24-2-28・29(火・水) 出島交流会館 受講者 8 名

Ⅲ・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施(受託事業)

H23-4-6(水)～5-25(水)(30日間) Nisa 研修室 受講者 6名

アルティスタ社とのタイアップにより、キャリア助成金の「実践型人材養成システム」を適用して、H23 年度の新入社員研修を NISA 研修室で 4 月 6 日～5 月 25 日(30 日間)まで実施した。助成金の活用により、本研修は企業負担無く実施できた。

キャリア形成促進助成金「実践型人材養成システム」は厚生労働大臣認定カリキュラムの外部委託(off-JT)と、自社内研修(OJT)を組み合わせる実施。

本研修は、アルティスタ社が「助成金を活用した組込み技術者研修で業界No.1」のイーソルエンベックス社と提携して実施。

Ⅲ・4 九経局 九州地域中小企業利活用基盤整備事業「人材育成研修事業」

H23-12-6(火)出島交流会館 受講者 18名

講座:「サーバ仮想化入門」～ITインフラ最適化を目指して～

・本研修事業は、九州経済産業局『平成23 年度次世代高信頼・省エネ型IT 基盤技術開発・実証事業(中小ベンダーにおけるサービス供給力強化事業)』として実施した。

・主催:熊本ソフトウェア(株)、(社)長崎県情報産業協会(NISA)

・後援:長崎県、長崎市、(財)長崎県産業振興財団

Ⅲ・5 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

(1) 研修

1) データセンター実務研修 [長崎県職業能力開発協会]

i) 期間 H23-9-12(月)～16(金) 9:30～16:30

ii) 定員 各コース 20名

iii) 場所 (株)アルテック情報システム 中央橋セミナールーム

iv) 内容 データセンターに習熟した人材を創出するための技術研修として、業務に必要なネットワーク運用管理技術等の知識の習得及び機器の設定方法などを学習。
・概論及び Linux 基本操作、サーバ構築、実習

2) ロボット制御技術研修 [長崎県職業能力開発協会]

i) ロボット制御技術コース H23-10-15(土)・16(日)・22(土)・23(日)

・ロボットを使った組込みプログラミングの学習、演習を行う。モータ、センサ、アクチュエータの仕組みとその制御の方法について学ぶ。

ii) 電子デバイス H23-11-12(土)・13(日)・19(土)・20(日)・23(祝)

・組込みで使用される電子デバイス概要、デジタル回路について講義を行う。

iii) 組込み制御プログラミングコース H24-1-21(土)・22(日)・28(土)・29(日)・2-4(土)

・リアルタイム OS を使った高度な組込みプログラミング実習を行う。

いずれも 10:00～17:00(6 時間/日)

iv) 定員 各コース 15名

v) 場所 長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス 5号館 1階 コミュニティスペース(長崎市網場町 536)

3) 3D映像シミュレータ研修 [長崎県職業能力開発協会]

(長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業)

地元企業・新規創業企業及び誘致対象企業において求められる産業人材を育成するために実施

i) 期間 H23-11-19(土)、26(土)、12-3日(土)・10(土)・11(日) 10:00～17:00 (1日6時間)

ii) 場所 長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス 17号館 情報デザイン実習室

iii) 定員 各10名

iv) 内容 デジタル映像編集の概要、3次元 CG 制作のワークフロー、アニメーション制作、インタラクティブなコンテンツの制作ウェブサイトの作成、並びに ftp サーバの管理方法を学習。

4) 3D CAD (金型設計)研修 [長崎県職業能力開発協会]

地元企業・新規創業企業及び誘致対象企業において求められる産業人材を育成するために実施

i) 期間 H23-11-19(土)・26(土)・12-3日(土)・10(土)・17(土) 10:00～17:00 (1日6時間)

ii) 場所 長崎大学

iii) 内容 SolidWorks を使った設計技術とプレス金型の設計技術を習得。

5) 環境分析技術研修 [長崎県職業能力開発協会]

(長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業)

地元企業・新規創業企業及び誘致対象企業において求められる高度人材を育成するために実施

i) 期間(A) H24-1-23(月)～27(金)

期間(B) H24-1-30(月)～2-3(金)

ii) 場所 長崎大学(総合教育研究棟9階・環境科学部1階)

iii) 定員 各10名

- iv) 内容 オリエンテーション、法規制、定量操作実習。
- 6) ロボット・溶接・溶接解析研修 [長崎県産業振興財団]**
- i) 期間 H23-12-23(金)・24(土)・27(日)
- ii) 場所 佐世保工業高等専門学校
- iii) 定員 15 名
- iv) 内容
 ロボット → 産業用ロボットの使用目的、用途及び取扱いの習得
 溶接 → 溶接技術の基礎知識及び基本技能の習得
 熱解析 → 溶接のなかで必要な熱伝導や熱ひずみの解析、熱解析ソフトを利用した溶接の熱変形シミュレーション等
- 7) 組込みシステム研修 [長崎県産業振興財団]**
- i) 期間 H24-2-11(土)・12(日)・25(土)・26(日)
- ii) 場所 長崎県工業技術センター(長崎県産業振興財団 第一研修室)
- iii) 定員 17 名
- iv) 内容 実際に H8 マイコンを使用して外部機器との通信プログラムの開発手段等について習得。

IV 人材高度化能力開発事業(今年度から「助成金支援事業」)

(H16 年度からキャリア形成促進事業および H23 年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)を助成金支援事業(事務費 10%)として実施。

人材高度化能力開発事業は平成 12 年度を準備年度として、平成 13 年度から 3 年間にわたり、独立行政法人 雇用・能力開発機構の助成金によって、事業を展開し、平成 15 年度に完了した。平成 16 年度より、キャリア形成促進助成金、また H23 年度は成長分野等人材育成支援奨励金に取組み、NISA 研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪である。

※キャリア形成促進 助成金および成長分野等人材育成支援 奨励金

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取組んでおられることに敬意を表すとともに、NISA 事務局もご支援のため、次のことを続けている。

人材高度化能力開発助成金制度が平成 15 年度で終了したため、平成 16 年度からキャリア形成促進助成金制度に取組むよう要望があり、また、成長分野等人材育成支援奨励金制度を協会で取組むことに理事会・総会で決定し、H23 年度は下記を実施。

(1) キャリア形成促進助成金

1) 助成金の申請先が雇用・能力開発機構から労働局へ変更

雇用・能力開発機構で実施されていた説明会は労働局では実施されないので、変更に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では、申請様式に計算式を掲載してわかりやすくまとめ、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。また、支給申請の提出時のチェックリストを Nisa で作成し、会員へ通知した。

2) 実施計画届書のチェック支援(H23-3~)

キャリア形成促進助成金は、初回申請は、研修を実施前であれば、何時でも良い(一般に 3 月である)。H23 年度から提出が労働局に変更になったのに伴い、初回申請は「訓練計画実施届」となり認定ではない。また、新規提出書類として「事業内職業能力開発計画書」(毎回提出)の作成要領書を作成し通知した。

「計画届」「支給申請」チェック等の支援を約 30 社について実施した。

i) 認定申請共同チェック H23-3-10(木)~3-29(火)

3) 支給申請書のチェック支援(確定支給額の 10%:事務費)(H23-5、10・11)

計算式を入れた申請フォームを Nisa で作成し、認定企業に配布し、申請業務の合理化と共同チェックを実施した。

i) 支給申請共同チェック H23-05-10(火)~05-20(金)

ii) 支給申請共同チェック H23-10-14(月)~11-17(木)

(2) 成長分野等人材育成支援事業 奨励金

1) 受給資格認定申請のチェック支援(H23-3~)

成長分野等人材育成支援(奨励金)は、H23 年度の事業として、健康・環境分野の人材育成の職業訓練の実施のためであるが、情報通信業分野の企業も対象である。

受給資格認定申請は、研修を実施する前であれば、何時でも良く、原則 1 年間(6 カ月でも可)。3 月より随時、申請のチェック支援を実施した。

(3) 留意点のメールによる配信と電話相談

V 講演・セミナー事業

ICT 化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有して、新製品・サービスの開発開拓に資することで、地域社会の発展につながることを目的とする。その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

(1) 事業内容

- 1) 開催回数 : 2~4回/年
- 2) 案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人の HP に掲載
- 3) 対象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- 4) 参加人数 : 40~80名

(2) 実施内容

1) 通常総会時講演会 H23-6-24(金) ホテルセントヒル長崎 60 名

- i) 演題 : 「クラウド化、スマートグリッド化時代における長崎エビッツの意義と地元情報産業の役割」
- ii) 講師(敬称略) : 長崎県産業労働部 政策監(長崎 EV&ITS プロジェクト担当)
兼、東京大学生産技術研究所 客員准教授(工学博士) 鈴木 高宏
- iii) 概要 : 長崎 EV&ITS プロジェクトは、五島への 100 台規模の EV 導入を契機に、EV の本格的普及には情報、エネルギー、交通といった次世代社会基盤そのものの変革が必要であることを明らかにし、その中で地域が主体的に活性化していく先進的モデル構築を進めている。迫り来るクラウド化、スマートグリッド化の中で、地域の情報産業が果たすべき役割は何かを提起・議論する。

2) FileMaker 導入セミナー H23-11-18(金) 長崎県労働福祉会館 参加 33 名(うち非会員 18 名)

「iPad や iPhone の活用事例をご紹介します！」

i) 概要 :

- ① FileMaker ビジネスアップデートについて ファイルメーカー(株)営業部
・製品のご説明と今後のロードマップについて説明
 - ② FileMaker Pro および FileMaker Go を使った開発事例 (株)ジュッポークス
・FileMaker と iPad/iPhone の特徴を利用したシステム提案例をわかりやすく説明。
 - ③ FileMaker システム運用環境について (株)ジュッポークス
・FileMaker のさまざまな運用環境(C/S、Web公開、仮想デスクトップ)や、FileMaker Go と FileMaker システムの同期方法などについて、具体的な事例を絡めて説明
- ii) 共催 : システムファイブ(株)、(株)ジュッポークス、ファイルメーカー(株)
(株)ハウインターナショナル、ソフトバンクモバイル(株)

3) 新春講演会 H24-1-27(金) ホテルセントヒル長崎 参加 86 名(うち非会員 18 名)

- i) 演題 : 「ユビキタスタウンにおける無線通信の現状と未来」
~無線通信の問題点と解決策を現実に沿った視点で展望する~
- ii) 講師(敬称略) : (株)にんじんネット 代表取締役会長 藤澤 等
- iii) 概要 : 地域の無線通信状況と問題点・解決策についての講演であった。
・超高速無線通信の現状
・無線 LAN とスマートフォン/タブレット
・WiMAX、LTE、PLE の現状と問題点
・公共 BB とホワイトスペース ・地域情報化の問題点
・「ひと」「もの」「かね」と情報
・国・都道府県・市町村の立場と補助金
・地域包括情報網 ・防災無線・スマートグリッド・地域情報

4) 九経局九州地域中小企業活用基盤整備事業 「人材育成研修事業」 長崎県情産協クラウドセミナー「クラウド化による地域社会への貢献」 ~クラウド化の事業者への影響とビジネス拡大&事例紹介セミナー~

H24-2-9(木) ホテルセントヒル長崎 64 名(うち非会員 14 名)

本セミナー事業は、九州経済産業局『平成 23 年度次世代高信頼・省エネ型 IT 基盤技術開発・実証事業(中小ベンダーにおけるサービス供給力強化事業)』として実施した。

i) テーマと講師(敬称略) :

- ① 「クラウドコンピューティングが情報サービス事業者に与える影響とビジネス拡大に向けての提言」
講師 : (株)日立ソリューションズ サービスプラットフォーム本部 本部長 中村 輝雄
- ② 「クラウド化時代における地元企業の対応とビジネス拡大事例」
講師 : 佐賀県最高情報統括監(CIO) 森本 登志男

ii) 主催 : 熊本ソフトウェア(株)、(社)長崎県情報産業協会(NISA)

iii) 後援 : 長崎県、長崎市、(財)長崎県産業振興財団、NPO 法人 IT コーディネータ協会

5)メンタルヘルスセミナー H24-2-24(火) 出島交流会館 参加 17 名(うち非会員 4 名)

i)テーマ:メンタルヘルス ～心の健康づくり

ii)講師(敬称略):(独)労働者健康福祉機構 長崎産業保健推進センター相談員 田川 宜昌

iii)概要:メンタルヘルス不調の予防から職場復帰までのメンタルヘルス対策全般について説明。

①ストレスとは、②ストレス要因、③ストレスへの気付きと対応

④心身症であることが多い疾患、心身症・神経症の特徴、⑤脳神経のしくみ

⑥うつ病の予防・うつ病の治療法

VI 情報収集提供事業

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進している。

これらの実現のためには、ICT化に関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を一早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報を HP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域の ICT 化の取り組みや施策の提案等を行う。

| | | | |
|--------------------|-------|------|---------|
| 提供項目: ①研修・講座 | | 48 件 | |
| ②セミナー・シンポジウム | | 50 件 | |
| ③報告会・講演会 | | 36 件 | |
| ④展示会 | | 9 件 | |
| ⑤政府および自治体からの通知等 | | 23 件 | |
| ⑥試験・コンテスト募集、その他 | | 16 件 | |
| ⑦関連団体(JISA・ANIA)情報 | | 24 件 | 計 206 件 |

情報源として、上部団体である一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、経済産業局からの情報をメールで配信。

①ANIA (全国地域情報産業団体連合会 会員速報)

②JISA メール

③九州経済局からの情報

これらは、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信した。

④会員情報 など

主情報

- (1)長崎県工業技術センター 第1回「大手企業と地元企業の技術連携セミナー」
H23-6-7(火) 14:00~16:00
- (2)長崎県工業技術センター 第2回「大手企業と地元企業の技術連携セミナー」
H23-9-1(木) 14:00~16:00
- (3)長崎県工業技術センター 第3回「大手企業と地元企業の技術連携セミナー」
H23-12-5(月) 14:00~16:00
- (4)長崎県工業技術センター「平成23年度 長崎技術研究会総会」H24-2-23(木) 14:00~17:30
アルカス SASEBO 3階 大会議室A
- (5)長崎県工業技術センター「第1回品質工学セミナー」H24-2-24(金) 14:00~16:40
- (6)長崎県工業技術センター「積層造形とCAM技術動向セミナー」H24-2-29(水) 13:30~16:00
- (7)長崎総合科学大学 地域連携研究会 H23-6-13(月) 16:30~
- (8)長崎総合科学大学 地域連携研究会「緑の知の拠点」事業キックオフシンポジウム
H23-12-17(土) 13:00~ 17:00
- (9)長崎総合科学大学「次世代エネルギー技術実証事業」「緑の知の拠点事業」
H23 年度 合同研究成果発表会 H24-3-29(木) 13:00~ 17:00
- (10)長崎総合科学大学 オープンセミナー「LabVIEWのセミナー」H23-10-1(土) 13:00~17:00
- (11)長崎総合科学大学公開講演会「新しい時代の感性とデザイン」H23-10-22(土)10:00~15:30
長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス 本館第4講義室
- (12)長崎県産業振興財団「クラウド・スマートフォン」活用セミナーH23-7-12(火) 14:00~17:00
出島交流会館 2F会議室
- (13)長崎県産業振興財団 製造業向け「クラウドソリューション」活用セミナー
H23-9-29(木) 14:00~16:00
- (14)長崎県産業振興財団 中小企業に役立つ「クラウド・スマートフォン」活用セミナー[第2弾]
H23-12-8(木) 14:00~17:00
- (15)九州経済産業局「情報セキュリティセミナー」の開催について H24-2-27(木) 13:15~17:15
～ ウイルスやサイバー攻撃などの脅威から守り、安心・安全な情報化社会の実現へ ~
- (16)H23 年度長崎県異業種連携・交流会(NIP)講演会 H23-8-5(金) 17:30~
- (17)長崎地域雇用創造協議会「仕掛け人に学ぶ!ふるさと活性!」セミナーH23-9-16(金)、13:30~17:00

Ⅶ 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す

- (1) **第1回 役員会** H23-4-27(水) 14:00~17:30、石井税理士事務所、議事録担当 手嶋理事(若杉代理)
役員以外の出席者:長崎県 上原課長、門司係長
- 1) H22 年度仮決算(会計監査前):承認
 - 2) 新法人への移行体制とスケジュール:承認
 - 3) 新法人定款(案)について:下記承認
一般社団法人移行後の新法人の定款として新旧対照表を提案し、主要ポイントを説明。個々の項目については、推進委員会で検討し、役員会に諮るよう決定。特に、役員の損害賠償責任の条項については詳細調査と検討を行うことを決定。
今後の移行認可申請手続において、字句その他技術的な修正が必要な場合、その対応については会長に委ねる。
 - 4) 平成 23 年通常総会等行事体制(6/24):承認
 - 5) H22 年度会計の監事による会計監査実施について:報告
 - 6) 成長分野等人材育成支援事業「奨励金」の案内と NISA の取組み:承認
キャリア助成金方式(NISA 事務局が指導し、その事務経費負担)について、キャリアと同様とする。
 - 7) 入退会の承認 (4/7 メールで承認を依頼):承認
 - 8) スマートエネルギー時代を考える(佐藤副会長):説明
- (2) **第2回 役員会** H23-5-27(金) 15:00~17:30、石井税理士事務所、議事録担当 荒川理事(松井代理)
役員以外の出席者:石井税理士事務所 石井所長・中島氏
- 1) H23 年度通常総会の講演会テーマと講師:承認
長崎県 産業労働部 政策監(EV&ITS推進担当) 鈴木 高宏氏に決定、テーマは、鈴木氏に一任。
 - 2) 平成 23 年通常総会等行事体制(6/24)審議後 下記承認
開催日:H23-6-24(金)、開催場所:ホテルセントヒル長崎
①総合司会:須藤理事、②議長は定款により、石橋会長、④22年度活動報告担当:佐藤副会長、
⑤会計監査結果報告担当:本多監事、⑥23年度活動方針説明:石橋会長、
⑦講演会体制は中野理事のとりまとめ、⑧会員交流会の司会担当:須藤理事
 - 3) H22 年度決算概要(監査 5/19 完了):本多・赤城両監事から報告:承認
 - 4) 新法人への移行体制とスケジュール(5月実施分):承認
 - 5) 新法人定款(案):承認。
 - 6) エネルギー管理クラウド(長崎県黒川係長担当)地域コンソーシアム取纏役として佐藤副会長:決定
- (3) **第3回 役員会** H23-6-10(金) 15:00~17:30、石井税理士事務所、議事録担当 小原理事(田中代理)
役員以外の出席者:長崎県 門司係長、石井税理士事務所 石井所長・中島氏
- 1) 通常総会議案書:承認、ただし次回から議案書内容を簡素化する。
 - 2) 一般社団への移行作業日程変更:承認
 - 3) 交流会費5000円:承認
 - 4) H23 年度通常総会の講演会テーマと講師:承認
 - 5) 平成 23 年通常総会等行事体制(6/24)審議(総合司会:須藤理事→浜本副会長):承認
 - 6) 長崎県(長崎県産業・雇用施策活用推進センター)の産業支援制度の案内:説明
 - 7) 長崎県立大学大学院国際情報学研究科学生募集の案内:説明
- (4) **第4回 役員会** H23-6-24(金) 13:00~13:40、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 渡邊理事
- 1) 通常総会議案:前回承認されたが、理事の交代(手嶋氏→山本氏)追加:承認
 - 2) 平成 23 年通常総会等行事体制(6/24)再確認:承認
 - 3) H23 年度 ANIA 全国大会(京都)行事への参加:下記承認
石橋会長・浜本副会長・須藤理事(交流委員長)・岩永事務局長
 - 4) JISA 補助金変更(前回も報告)による NISA 事業の補助金事業再構築:技術研修委員会に決定
 - 5) クラウド事業(中小企業利活用推進環境整備事業):審議継続
 - 6) アサヒビール相談役福地茂雄様記念講演会 協賛について:審議継続
 - 7) 平成 23 年度「スキル標準」講演会:NISA 取組み:検討継続
- (5) **第5回 役員会** H23-7-29(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 須藤理事
- 1) 「エネルギー管理クラウド」ハウステンボス実証試験に関する報告と討議(佐藤副会長):報告
 - 2) エネルギー・サミット in 長崎について(佐藤副会長):説明
 - 3) 「EV等事業化支援事業」の公募について(期限:8/12金 必着)(佐藤副会長):説明
 - 4) 長崎県工業技術センターとの交流会開催(8/26 金)について、要望と開催:承認

- 5)平成 23 年度「スキル標準」講演会:NISA 取組む 企画委員会:検討継続
- 6)平成 23 年度 JIISA 地域活性化事業の募集について(9/16 申請締切):検討継続
- 7)H23 年度 ANIA 全国大会(京都)行事への参加:下記承認
前回、石橋会長、浜本副会長、須藤理事、岩永が決定されたが、富士通長崎支店・横枕支店長を追加。
- 8)クラウド事業(中小企業利活用推進環境整備事業):検討継続
- 9)NISA NEWS の発行について:承認
- 10)「業種別 下請代金法・下請ガイドライン説明会」:説明
- 11)クラウドでない事例視察会のご案内(ANIA):参加者募集

(6)第6回 役員会 H23-8-26(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 本多監事(石橋代理)

役員以外の出席者:長崎県 門司係長、石井税理士事務所 中島氏

- 1)長崎EV&ITSプロジェクトに関するアプリケーションの開発説明:県 門司係長から説明
- 2)九州地域中小企業活用基盤整備事業「人材育成研修事業」(提出期限:9/15):事務局の説明
- 3)新法人移行申請書(申請直前) 審議(説明 石井税理士):満場一致で承認
『軽微な変更については会長、事務局に一任』についても、満場一致で承認
- 4)「エネルギー管理クラウド」ハウステンボス実証試験に関する報告と討議:佐藤副会長より報告
- 5)エネルギー・サミット in 長崎について:佐藤副会長より説明
- 6)平成 23 年度 JIISA 地域活性化事業の募集 9/16 申請締切 (NISA 事務局へ 9/12 迄)
『アンドロイド会』へ事業開催を業務委託して開催の発議あり、承認された。佐藤副会長より『アンドロイド会』へ打診し、アンドロイド会が了承されたときは『平成 23 年度地域活性化事業助成金交付申請書(事業内容)』の事業区分(1)地域連携事業、(2)ビジネス連携事業について『アンドロイド会』側で作成して、佐藤副会長より事務局へ提出することとなった。しかし、アンドロイド会長崎支部が受けなかったため、最終的には、事務局で『平成 23 年度地域活性化事業助成金交付申請書(事業予算)』を作成して、JISAへ提出する事に決定。
- 7)技術経営(MOT)受入会場の募集(開催:10~12 月、9 回)について:NISA では開催しないことを決定。
- 8)JISA 九州・沖縄地区会への出席 :石橋会長
- 9)長崎県工業技術センターとの交流会:説明

(7)第7回 役員会 H23-9-30(金) 15:00~17:30、出島交流会館、議事録担当 酒井理事

役員以外の出席者:長崎県 門司係長、石井税理士事務所 中島氏

- 1)九州地域中小企業活用基盤整備事業「人材育成研修事業」(提出:9/21 済):報告
- 2)新法人移行のための電子申請書 (提出:9/16 済) その後の手続き審議:承認
- 3)「FileMaker セミナー」(開催 11/18)開催(事後承認):報告
- 4)「エネルギー管理クラウド」ハウステンボス実証試験の補助金認可(9/16)(佐藤副会長):報告
- 5)九州組込み・サミット 2011in 長崎 テーマ「エネルギー、医療、EV&ITS」(佐藤副会長):承認
- 6)技術経営(MOT)長崎地区会場決定「諫早中核工業団地(開催:10~12 月、9 回):報告
- 7)平成 23 年度 JIISA 地域活性化事業の応募案説明(事後承認):承認
- 8)キャリア形成促進助成金説明会 (9/6:長崎)と NISA の取組み:承認

(8)第8回 役員会 H23-10-28(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 江崎理事

役員以外の出席者:長崎県 門司係長

- 1)九州地域中小企業活用基盤整備事業「人材育成研修事業」講師への要望検討:報告
年度2回の開催について承認
- 2)九州内情報サービス産業協会関連団体の連絡会議の出席者:下記承認
石橋会長と岩永事務局長が参加することに決定。
- 3)平成 24 年新春講演会(1/28)テーマの検討と企画委員会での決定:継続審議
- 4)平成 24 年新春「わが社の一押し」(1/28)発表企業の検討・決定:継続して募集
- 5)H24 年度研修科目(案)とアンケート(佐藤委員長):報告
- 6)「メンタルヘルスに関するセミナー」(開催 H24/2)の提案 (佐藤副委員長提案):開催決定
- 7)九州組込み・サミット 2011in Nagasaki テーマ「エネルギー、医療、EV&ITS」(佐藤副会長):報告
- 8)東長崎エコタウン協議会への NISA 加入(期限 10/末)検討:参加決定
- 9)長崎市経済振興会議の委員の推薦:NISA から須藤理事を推薦することを決定。
- 10)長崎エビッツへ事務局の参加(WG1~4):事後承認
- 11)H23 年度 JISA 補助金総額が決定 受講者の確保と来年度地域連体制の検討:報告
- 12)JISA研修「高度IT技術者育成事業」受講者確保体制の強化検討:報告
- 13)成長分野等人材育成(入社 5 年以内)とキャリア形成促進助成金への NISA 取組み、補助金交付決定額の写しを事務局へ通知:承認
- 14)サイバー攻撃等に対するネットワークセキュリティの強化対策の検討:導入見送り決定
- 15)情報サービス産業厚生年金基金への加入について:報告

- 16)情報産業労働労働組合連合会参加要請に対する検討:報告 ANIA が参加が重要
 17)新法人移行のための電子申請書 (提出:9/16 済) その後手続き:報告

(9)第9回 役員会 H23-11-29(火) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 井上理事

- 1)平成 24 年新春講演会 テーマと講演者(企画委員長):承認
- 2)平成 24 年新春「わが社の一押し」発表企業:下記決定
 - ①扇精光 扇理事、②ドウアイネット 井川理事
- 3)平成 24 年度新春講演会・わが社の一押し・交流会体制:下記承認
 - ①講演会司会担当:企画委員会、②わが社の一押し(交流委員会)司会担当:交流委員会
 - ③産学官交流会(交流委員会)司会担当:交流委員会、④招待者 市・情報システム課を追加
 - ⑤横断看板を新規に作成
- 4)ANIA 新春交流会(2/2 開催)への参加者(会長・浜本副会長・荒川理事):決定
- 5)九州組込みサミット2011in ながさき(12/2 開催)案内と 協会関係者の参加:報告
- 6)H23年度「中小ITベンダーにおけるサービス供給力強化事業」 <<九経局>>
 研修「サーバ仮想化入門 ~ITインフラ最適化を目指して~」(12/6 開催):報告
- 7)九経局九州地域中小企業活用基盤整備事業「人材育成研修事業」 セミナー体制と参加者増強体制の
 検討:検討継続
- 8)JISA研修「高度IT技術者育成事業」受講者確保体制の強化 検討:検討継続
- 9)平成 24 年度 NISA 研修アンケート状況とフォロー:報告
- 10)公益社団法人及び公益財団法人における政策・方針決定過程への女性の参画拡大について
 (内閣府男女共同参画局長):報告

(10)第10回 役員会 H23-12-20(火) 15:00~17:30、石井税理士事務所、議事録担当 井川理事

- 1)臨時総会開催:承認
- 2)平成 24 年新春講演会 テーマと講演者(企画委員長):下記決定
 興味を引く講演テーマとして「ユビキタスタウンにおける無線 LAN の現状と未来」へ変更。
- 3)平成 24 年新春「わが社の一押し」発表企業:下記決定
 - ①扇精光「我社の GIS と携帯アプリの紹介」
 - ②ドウアイネット「ここまできた最新 AR(拡張現実)アプリのご紹介」
- 4)平成 24 年度新春講演会・わが社の一押し・交流会体制 (前回決定):下記決定
 講演会の司会担当:中野理事。わが社の一押し、産学官交流会の司会:須藤理事。
- 5)ANIA 新春交流会(2/2 開催)への出席者の検討:下記決定
 会長、副会長・浜本副会長の代理、須藤理事、荒川理事、ビーオルグ(福田社長)出席
- 6)H24 年度九経局の補助金について、熊本ソフトウェア諫山氏との共同提案を推奨(門司係長説明):下記決定
 セミナー事業に関しては、事務局主導で応募する(熊本と共同提案)。
 それ以外の事業については、参加理事各社の意向により、応募しないことに決定。
- 7)イーソルエンペックスによる成長分野を利用した研修(H24 年 1 月 17 日説明会):下記決定
 イーソルエンペックスが示す最低人員を満たす参加人数が集まれば開催する。
- 8)業種別 下請代金法・下請ガイドライン説明用 DVD の書信による配布(切手 390 円):決定
- 9)長崎県中小企業労務改善集団協会と NISA HP とのリンクについて:承認
- 10)九経局九州地域中小企業活用基盤整備事業「人材育成研修事業」 セミナー体制と参加者増強体制:承認
- 11)平成 24 年度 NISA 研修アンケート状況とフォロー:決定
 アンケート結果が発表され、来年度の研修計画は本結果をもとに研修委員会と協議する。

(11)第11回 役員会 H24-1-27(金) 13:10~13:45、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 梁瀬理事

- 1)臨時総会:確認
- 2)平成 24 年新春「わが社の一押し」:確認
- 3)平成 24 年新春講演会(中野企画委員長):確認
- 4)平成 24 年 産学官交流会(須藤委員長):確認
- 5)平成 24 年度 NISA 研修計画(案)(研修委員会):報告

(12)第12回 役員会 H24-2-24(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 扇理事(藤本代理)

役員以外の出席者:県 産業技術課 門司係長

- 1)長崎県への要望等:決定「県の人事異動後に行う。」
- 2)熊本ソフトウェア(株)との連携 (関連 報告2):検討
 現在、出島交流会館でインターネットを利用できる環境を整え、行政情報の一部として活用している。
 但し、利用範囲は長崎県の行政に関わるものである為、簡単に館内のネットワーク配線を展示交
 流室まで延伸して利用することは情報セキュリティと利用料金負担の観点から出来ない。
 今後、県として善後策を検討したい旨、発言があった。

- 3) 委員会の状況報告と来年度の各委員方針と運営の提出(3/19): 下記承認
委員長は、3/19 までに事務局へ連絡し、次回#13 役員会(3/23)で各委員が方針発表する。
- 4) 特例民法人の解散登記と一般社団法人への移行登記の件: 下記承認
4/1 登記を確実に完了するために、司法書士に委託する。
現法人の理事・監事は、任期満了の H24 年 6 月 28 日までとして、引き続きその任に当たることを確認した。
- 5) 決算 予想と対策: 承認
- 6) イーソルエンベックスとの提携新入社員研修: 報告

(13) 第 13 回 役員会 H24-3-23(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 山本理事(若杉代理)

- 1) H24 年度役員体制の検討: 承認
- 2) H24 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等検討・決定: 検討継続
- 3) H24 年度の方針、計画について(委員長): 下記承認
 - ① 企画委員会: 研究会を Nisa 組織の中に設けること承認した。研究会のテーマは今後検討する。
 - ② 総務委員会: 会員の顔が見えてないので各会員情報を発信して行く。
 - ③ 研修技術委員会: 遠隔研修も取り組む。
 - ④ 拡大委員会: リーフレットは広報委員会で見直す。
 - ⑤ 交流委員会: 海外との交流として参加メンバーが集まればベトナムの IT 企業視察を検討する。
- 4) 長崎県産業労働部 産業技術課との意見交換会の開催: 承認
- 5) 「業務災害補償制度」について制度普及推進費と会員への広報について: 承認
- 6) 決算 予想と対策 (3/23 時点の予想): 承認
- 7) 都道府県型 JP ドメイン名について(京都情産協よりの提案)長崎としての対応を検討する。
- 8) NISA NEWS 第 9 号の発行(総務委員会): 承認